

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	公益財団法人東京交響楽団
公演団体名	東京交響楽団

内容
<p>コロナウイルス感染症拡大防止のため、各学校の生徒数、会場キャパシティを考慮した上で、下記のようにいくつかの選択制としています。また、</p> <p><u>①通常ワークショップ:出演者数6名(制作が司会を務めます)</u></p> <p>公演の約1～2 か月前に、指揮者、ピアニスト、演奏者(オーケストラのいずれかの楽器奏者 3名)および司会の6名で行う。オーケストラに使われている楽器の説明や小品の演奏、演奏会で演奏される楽曲の解説、本公演に向けての事前授業を2時限内で行います。申請当初予定していた合唱練習はコロナ禍では困難なため、リズム遊びなどのワークスタディに差し替えます。</p> <ul style="list-style-type: none">・楽器を持っていない状態でメンバー紹介(3分)・「オーケストラって何だろう?」:写真と資料を用いて司会が担当(5分)・リズム遊び・楽器のお話し①(15分)・楽器のお話し②(15分)(休憩 15分)・ピアノのお話し(5分)・楽器のお話し③(15分)・指揮者のお話し(5分)・まとめ ※全体 90分の進行は司会が務めます。 <p><ねらい></p> <ul style="list-style-type: none">・「指揮者とは?」についてのお話の後、子どもたちのピアノ伴奏による合唱の練習&ピアノ演奏による「指揮」の練習を行います。小人数の場合などは、普段歌っている曲も取り上げることも可能です。(進み具合や状況に応じて内容を、よりふさわしいと思われる形に変更する場合があります。)・演奏者が自分の演奏している楽器の仕組みや吹き方・音色についてのお話と、他の同族楽器の説明も、できる範囲内で解説します。説明のあと、各楽器の演奏をピアノ伴奏にて演奏します。また打楽器奏者の場合は、子どもたち参加型のリズム遊びが入る場合もあります。 <p><u>②少人数短縮ワークショップ:出演者数3名(制作が司会を務めます)</u></p> <p>司会とピアニストと演奏者の3名で行う。音楽室での音楽の授業へゲストとして出演し、先生が行う予定だった授業を代行する。音楽の授業内容の中でもオーケストラの音楽鑑賞の時間をあてがっていただき、実際に演奏するときの話や、一部のメロディをピアニストと演奏者で演奏する。また、他にも数曲の小品を持ち込み、ミニコンサートを行い生演奏の鑑賞の機会も設ける。時間は1時限分に収めることで、2クラス分の授業を行う。</p>

- ・「オーケストラって何だろう?」: 写真と資料を用いて司会が担当(5分)
- ・あつかう鑑賞曲についての話
- ・オーケストラ演奏者から楽器と演奏のお話しとピアノ伴奏による一部演奏
- ・楽器の話
- ・ミニコンサート

<ねらい>

- ・音楽の授業における音楽鑑賞では CD などを使用して生徒に聞いてもらうものですが、実際に演奏している人からのなかなか聞けない話を聞くことでより身近なものに感じてもらいます。
- ・音楽室で演奏することのメリットを存分に活かします。音楽室での演奏は演奏者との距離が体育館での鑑賞よりも近いいため細かい動きや息遣いなどもとらえることができます。

※以上の 2 件のみに限らず、対象校の現況に応じてコーディネートを考えています。

タイムスケジュール（標準）

基本的に 1, 2 時限目:リハーサル 3, 4 時限目:ワークショップを行います。

派遣者数

①6名 ②3名

学校における事前指導

ワークショップに備えての事前指導は特に必要ありません。

②の音楽鑑賞部分について、授業で何を取り扱うかについて、先にお伺いいたします。

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	公益財団法人東京交響楽団
公演団体名	東京交響楽団

演目
<第1部> ・スメタナ: 歌劇『売られた花嫁』序曲 ・小室昌広: 「ディズニーのメロディによる管弦楽入門」 ・協奏曲(モンティ: チャールダーシュ、モーツァルト: ファゴット協奏曲など) ※できるだけ派遣地出身楽員をソリストとして起用する (休憩 15分) <第2部> ・ベートーヴェン: 交響曲第5番「運命」から第1楽章 ・選択式 A)【指揮者体験】ビゼー: 歌劇『カルメン』より前奏曲・【生徒との共演】杉本竜一: ビリーブ B)オーケストラ映画音楽メドレーもしくはアニメメドレー 外山雄三: 管弦楽のためのラプソディ アンコール)久石譲: 君をのせて(映画『天空の城ラピュタ』より)

派遣者数
出演者: 69名、スタッフ: 10名、合計: 79名 ソリスト: 東京交響楽団楽団員、指揮: 大井剛史 管弦楽: 東京交響楽団(2管12型)ピッコロ×1、フルート×2、オーボエ×2、クラリネット×2、ファゴット×2、ホルン×4、トランペット×3、トロンボーン×3、チューバ×1、ティンパニ×1、打楽器×3、ハープ×1 ファースト・ヴァイオリン(コンサートマスター1名含む)×12 セカンド・ヴァイオリン×10、ヴィオラ×8、チェロ×7、コントラバス×6

タイムスケジュール(標準)
9:00にスタッフ到着・オーケストラセッティング開始、11:00～12:30 現地体育館でゲネプロ 13:30開演、15:00終演予定

実施校への協力依頼人員
特になし

演目解説

2部構成で、前半の第1部ではオーケストラを構成する楽器に注目できる曲目、後半の第2部ではオーケストラ全体の響きや音楽の歴史に注目できる曲目で構成しています。

第1部は「売られた花嫁」序曲の華やかな響きで開幕します。弦楽器の細かいパッセージと各パートのアンサンブルが非常に重要な曲で、オーケストラ内のチームワークが織り成す特有の響きが、各体育館を劇場に変貌させ、日常から非日常への扉を開きます。二曲目の「ディズニーのメロディによる管弦楽入門」では各楽器それぞれを一つずつナレーション付きで紹介します。

①グループの紹介	〈星に願いを〉	⑧コントラバス	〈イツ・ア・スモーツ・ワールド〉
②フルート、ピッコロ	〈ハイ・デ・イトル・デー・デー〉	⑨ハーブ	〈イツ・ア・スモーツ・ワールド〉
③オーボエ、イングリッシュホルン	〈ホール・ニューワールド〉	⑩ホルン	〈美女と野獣〉
④クラリネット	〈狼なんか恐くない〉	⑪トランペット	〈チム・チム・チェリー〉
⑤ファゴット	〈ビビディ・バビディ・ドゥー〉	⑫トロンボーン	〈ジッパ・ディ・ドゥー・ダー〉
⑥ヴァイオリン	〈イツ・ア・スモール・ワールド〉	⑬打楽器	〈ミッキー・マウス・マーチ〉
⑦ヴィオラ、チェロ	〈いつか王子様が〉	⑭トゥッティ(全合奏)によるフカ	〈エレクトリカル・パレード〉

三曲目は協奏曲では一つの楽器にクローズアップし、ソロの妙技を楽しみます。ここで登場するソリストは、可能な限り派遣地域出身の楽員を起用する予定です。

第2部はオーケストラの豊かな響きを存分に楽しみながら、一方で作曲家の歴史や音楽の地域性を同時に学べるプログラムを揃えます。冒頭はベートーヴェン交響曲「運命」の第1楽章から。ベートーヴェンという作曲家を通して、その人となりや想いがいかに音楽に表れているかを聴いてもらいます。指揮者体験コーナーでは指揮者の役割を学びつつ、実際に数人の代表者にオーケストラを指揮してもらいます。ビリーブではオーケストラと一緒に共演することでその壮大なハーモニーを作る楽しさを提供します。但し、コロナウイルス感染症拡大防止のため、合唱や指揮者体験を行えない可能性がありますので、その場合には子供たちになじみの深い映画やアニメーションの曲を取り入れます。フィナーレでは日本特有のリズムやメロディがふんだんに盛り込まれた「管弦楽のためのラプソディ」で締めくくります。アンコールでは子供たちに特に耳なじみのある「君をのせて」を演奏して終演となります。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

指揮者体験コーナーでは、指揮者主導で簡単な指揮法講座を開きます。その後2～3名の希望者に、指揮台に上がってオーケストラを実際に指揮してもらいます。やり方を全て伝えた上で指揮を振っても、ただ「振っただけ」の経験になってしまいます。指揮者は孤独な仕事、実際に指揮者になったつもりで、指揮台に上がった後はできるだけ子供たちに考えさせながら、指揮をしてもらいたいと考えています。(生徒が指揮を振って、音楽が止まってしまった場合、指揮者がフォローを入れます。)

<生徒との共演>

指揮者による簡単な発声練習後、オーケストラ伴奏でビリーブを全員で歌います。

但し、上記のものは感染症拡大防止のために行えない可能性があります。その場合のコーディネート各学校のご担当の先生と綿密に相談し、特別な体験ができるように準備してまいります。

児童生徒とのふれあい

指揮者体験、「一緒に歌おう」のコーナー。

大型楽器や重量の多い危険物を取り扱っているため、設営や撤収に参加していただくことは、楽器の搬出が終わるまではご遠慮いただいております。各校の吹奏楽部などが希望される場合には、バスの発車の時間までの短い時間ですがともに時間を過ごすことで、交流を図っています。